

## 医療用具、環境などの消毒に...

## 外用殺菌消毒剤

(塩化ベンザルコニウム製剤)

ネオザルコン<sup>®</sup>G消毒液0.1

8%エタノール添加0.1%塩化ベンザルコニウム液

NEOZALKONIN<sup>®</sup>G DISINFECTANT SOLUTION 0.1

1. 8%エタノールの添加により、薬液の微生物汚染を防止できます。
2. 使用濃度製剤なので、希釈調製が不要です。
3. 着色製剤なので、誤使用を防止できます。



## 〔注意〕

経口投与しないこと。  
浣腸には使用しないこと。

〔要約〕

詳細は、D.I.欄又は製品添付文書等をご参照ください。

# ネオザルコニン<sup>®</sup>G消毒液0.1

NEOZALKONIN<sup>®</sup>G DISINFECTANT SOLUTION 0.1

塩化ベンザルコニウムは、グラム陽性菌・グラム陰性菌等に広範囲に抗微生物スペクトルを有する第四級アンモニウム塩系の殺菌消毒剤で、皮膚・粘膜、医療用具、器具、環境等の消毒に広く用いられています。しかし、抵抗性菌も多く認められるため、薬液が微生物汚染を受けることがあります。その防止のために少量のエタノールを添加することの有用性が報告されています<sup>1,2)</sup>。また、消毒剤に関連する医療事故防止対策として、使用用途に応じて薬液を着色することや、使用濃度の市販品又は薬剤部で調製した使用濃度液を使用することが推奨されています<sup>3,4)</sup>。ネオザルコニンG消毒液0.1は、有効成分として塩化ベンザルコニウムを0.1 w/v%含有する使用濃度液で、薬液の微生物汚染を防止する目的でエタノールを8 vol%添加し、さらに薬液を緑色に着色して識別性を向上させた製剤で、医療用具、環境等の消毒に適しています。

## 特性

### 1. 広い抗微生物スペクトル

グラム陽性菌、グラム陰性菌等に広範囲に抗微生物スペクトルを有します。

### 2. 薬液の微生物汚染防止

エタノールが8 vol%添加されているので、薬液の微生物汚染を防止できます<sup>5)</sup>。

### 3. 使用濃度製剤

使用濃度に調製された製剤なので、院内製剤業務の省力化が可能で、計量・希釈ミスを防止できます。

### 4. 識別性向上

誤使用による医療事故防止のために、薬液を緑色に着色し、識別性を向上させた製剤です。

### 5. 副作用

発疹、掻痒感等の過敏症状があらわれることがあります。

## 組成・性状

有効成分	塩化ベンザルコニウム 0.1 w/v%
添加物	エタノール、緑色201号、黄色4号（タートラジン）
性状	淡緑色澄明の液で、特異なおいがある。 振ると泡立つ。

## 効能・効果

効能・効果	使用濃度
医療用具の消毒	0.1%
手術室・病室・家具・器具・物品などの消毒	0.05～0.1%
手指・皮膚の消毒	0.05～0.1%
手術部位（手術野）の皮膚の消毒	0.1% 0.2%

（塩化ベンザルコニウムとしての濃度）



# DRUG INFORMATION

商品名	和名	ネオザルコニン® G消毒液 0.1												
	洋名	NEOZALKONIN® G DISINFECTANT SOLUTION 0.1												
製造発売元	健栄製薬株式会社	承認番号	(14AM)429											
日本標準商品分類番号	872616	承認年月	2002年3月											
薬効分類	外用殺菌消毒剤	薬価基準収載年月	未収載											
規制区分	普通薬	販売開始年月	2003年11月											
組成・性状	100 mL中 塩化ベンザルコニウム 0.1 g含有 (0.1 w/v%)。 添加物としてエタノール、緑色 201号、黄色 4号 (タートラジン) を含有する。 淡緑色澄明の液で、特異なおいがある。振ると泡立つ。													
効能・効果 用法・用量	<table border="1"> <thead> <tr> <th>効能・効果</th> <th>用法・用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療用具の消毒</td> <td>塩化ベンザルコニウム 0.1% 溶液に 10 分間浸漬するか、または厳密に消毒する際は、器具を予め 2% 炭酸ナトリウム水溶液で洗い、その後塩化ベンザルコニウム 0.1% 溶液中で 15 分間煮沸する。</td> </tr> <tr> <td>手術室・病室・家具・器具・物品などの消毒</td> <td>塩化ベンザルコニウム 0.05 ~ 0.1% 溶液を布片で塗布・清拭するか、または噴霧する。</td> </tr> <tr> <td>手指・皮膚の消毒</td> <td>通常石けんで十分に洗浄し、水で石けん分を十分に洗い落した後、塩化ベンザルコニウム 0.05 ~ 0.1% 溶液に浸して洗い、滅菌ガーゼあるいは布片で清拭する。 術前の手洗の場合には、5 ~ 10 分間ブラッシングする。</td> </tr> <tr> <td>手術部位 (手術野) の皮膚の消毒</td> <td>手術前局所皮膚面を塩化ベンザルコニウム 0.1% 溶液で約 5 分間洗い、その後塩化ベンザルコニウム 0.2% 溶液を塗布する。</td> </tr> </tbody> </table>				効能・効果	用法・用量	医療用具の消毒	塩化ベンザルコニウム 0.1% 溶液に 10 分間浸漬するか、または厳密に消毒する際は、器具を予め 2% 炭酸ナトリウム水溶液で洗い、その後塩化ベンザルコニウム 0.1% 溶液中で 15 分間煮沸する。	手術室・病室・家具・器具・物品などの消毒	塩化ベンザルコニウム 0.05 ~ 0.1% 溶液を布片で塗布・清拭するか、または噴霧する。	手指・皮膚の消毒	通常石けんで十分に洗浄し、水で石けん分を十分に洗い落した後、塩化ベンザルコニウム 0.05 ~ 0.1% 溶液に浸して洗い、滅菌ガーゼあるいは布片で清拭する。 術前の手洗の場合には、5 ~ 10 分間ブラッシングする。	手術部位 (手術野) の皮膚の消毒	手術前局所皮膚面を塩化ベンザルコニウム 0.1% 溶液で約 5 分間洗い、その後塩化ベンザルコニウム 0.2% 溶液を塗布する。
効能・効果	用法・用量													
医療用具の消毒	塩化ベンザルコニウム 0.1% 溶液に 10 分間浸漬するか、または厳密に消毒する際は、器具を予め 2% 炭酸ナトリウム水溶液で洗い、その後塩化ベンザルコニウム 0.1% 溶液中で 15 分間煮沸する。													
手術室・病室・家具・器具・物品などの消毒	塩化ベンザルコニウム 0.05 ~ 0.1% 溶液を布片で塗布・清拭するか、または噴霧する。													
手指・皮膚の消毒	通常石けんで十分に洗浄し、水で石けん分を十分に洗い落した後、塩化ベンザルコニウム 0.05 ~ 0.1% 溶液に浸して洗い、滅菌ガーゼあるいは布片で清拭する。 術前の手洗の場合には、5 ~ 10 分間ブラッシングする。													
手術部位 (手術野) の皮膚の消毒	手術前局所皮膚面を塩化ベンザルコニウム 0.1% 溶液で約 5 分間洗い、その後塩化ベンザルコニウム 0.2% 溶液を塗布する。													
使用上の注意 (使用上の注意の改訂に十分留意すること。)	<p>1 重要な基本的注意</p> <p>(1) 本剤は、濃度に注意して使用すること。</p> <p>(2) 炭症又は易刺激性の部位 (陰股部等) に使用する場合には、正常の部位に使用するよりも低濃度とすることが望ましい。</p> <p>2 副作用</p> <p>本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。</p> <p>過敏症：発疹、痒感等の過敏症状 (頻度不明) があらわれることがあるので、このような場合には使用を中止し、適切な処置を行うこと。</p> <p>3 臨床検査結果に及ぼす影響</p> <p>本剤で消毒したカテーテルで採取した尿は、スルホサリチル酸法による尿蛋白試験で偽陽性を示すことがある。</p> <p>4 適用上の注意</p> <p>(1) 人体</p> <p>1) 投与経路： 経口投与しないこと。洗腸には使用しないこと。</p> <p>2) 使用時： ア . 原液が眼に入らないように注意すること。 眼に入った場合には水でよく洗い流すこと。 イ . 皮膚の刺激症状があらわれることがあるので、注意すること。 ウ . 炎症部位に長期間又は広範囲に使用しないこと (全身吸収による筋脱力を起こすおそれがある)。 エ . 密封包帯、ギプス包帯、パックに使用すると刺激症状があらわれることがあるので、使用しないことが望ましい。</p> <p>(2) その他</p> <p>1 調製方法： ア . 希釈液として塩類含量の多い水又は硬水を用いる場合には、通常用いる濃度の 1.5 ~ 2 倍の溶液として使用すること。 イ . 繊維、布 (綿、ガーゼ、ウール、レーヨン等) は本剤の成分である塩化ベンザルコニウムを吸着するので、これらを溶液に浸漬して用いる場合には、有効濃度以下とならないように注意すること。</p> <p>2 使用時： ア . 血清、膿汁等の有機性物質は殺菌作用を減弱させるので、これらが付着している場合は、十分に洗い落してから使用すること。 イ . 石けん類は本剤の殺菌作用を減弱させるので、石けん分を洗い落してから使用すること。 ウ . 皮膚消毒に使用する綿球、ガーゼ等は滅菌保存し、使用時に溶液に浸すこと。</p> <p>3 器具等材質： ア . 合成ゴム製品、合成樹脂製品、光学器具、鏡器具、塗装カテーテル等への使用は避けることが望ましい。 イ . 金属器具を長時間浸漬する必要がある場合は、腐蝕を防止するために塩化ベンザルコニウム 0.1% 溶液に 0.5 ~ 1.0% の亜硝酸ナトリウムを添加すること。 ウ . 皮革製品の消毒に使用すると、変質させることがあるので、使用しないこと。</p>													
薬効薬理	本剤は使用濃度において、栄養型細菌 (グラム陽性菌、グラム陰性菌)、一部の真菌等には有効であるが、結核菌及び大部分のウイルスに対する効果は期待できない。													
取扱い上の注意	<p>貯法 気密容器・室温保存</p> <p>使用期限 容器等に表示</p> <p>注意 開封時、容器の肩部又は底部をもち、液がとびださないように、キャップを開けること。(500 mL に記載)</p>													
包装	500 mL、5 L													
文献請求先	健栄製薬株式会社 学術情報部 〒541-0044 大阪市中央区伏見町 2 丁目 5 番 8 号 電話番号 (06) 6231-5626													

[ 詳細は添付文書等をご参照ください。 ]

## 参考文献

- 1) 諏訪雅宣 他：低濃度エタノールを添加した塩化ベンザルコニウムの殺菌効果，医学と薬学 50(2)：179-181，2003。
- 2) 尾家重治 他：気管内吸引チューブ浸漬用消毒薬 (ザルコニン® A 液 0.1) の使用後の微生物汚染調査，医学と薬学 42(6)：989-991，1999。
- 3) 社団法人 日本病院薬剤師会：消毒剤による医療事故防止について，1999。
- 4) 加野弘道：消毒剤による事故は薬剤師が防ぐー日病薬「消毒剤の取り扱い指針」の解説一，調剤と情報 5(9)：1353-1359，1999。
- 5) 諏訪雅宣 他：新規消毒薬ネオザルコニン® G の殺菌効果，医学と薬学 50(4)：509-511，2003。